

## 事業報告書

新型コロナウイルス感染拡大の状況の変化に合わせて、感染対策等工夫をしながら各事業に取り組んだ。新型コロナウイルス特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)の申請受付期間は9月に終了となったが、特例貸付の償還開始に合わせて継続的な相談対応を可能にするため、コロナ復興支援センター事業を受託し、従来の生活困窮者自立支援事業及び生活福祉資金を含めて相談窓口を一体で運用できるよう体制を強化した。

高齢者支援については、認知症施策推進事業として高齢者対象のスマートフォン教室を開催。昨年度から取り組んでいる介護予防の「さのトレ体操」については実施個所が拡大した。

ひきこもり支援の一環として、一般社団法人ひきこもり UX 会議・大阪府・泉佐野市と共催による「ひきこもり UX ラウンジ in 泉佐野」を開催し、ひきこもり当事者・家族・支援者間のつながりづくりを行った。

地域活動支援については、各地区担当職員の配置により、昨年度に引き続き、地域の状況に合わせて情報提供や研修・連絡会を開催し、地区福祉委員会等住民主体の支えあい活動推進の支援に取り組んだ。さらに助成金制度の見直しを行うことで新たな活動の立ち上げに対する支援を強化した。

ボランティアセンター事業については、ボランティアフェスティバルは規模を縮小して、登録ボランティアグループ等の活動の体験ブースやPRを中心に実施した。チャリティバザー及びふれあいクリスマス会は感染対策を行った上でプログラムを工夫して開催した。

日常生活自立支援事業については、知的・精神障がい者の利用者が多い状況が継続しており、新規契約に関する相談が増加傾向にある。

地域の実情に合わせた自主的な福祉活動の計画的実施のため、自主財源確保として、引き続き会員会費募集・歳末助け合い運動に努めた。赤い羽根共同募金については、昨年度実施できなかった街頭募金を人数をしばって実施、市内のショッピングモールでのポスター掲示等 PR 啓発やイベント出展を行った。

泉佐野市民生委員児童委員協議会の運営については民生委員児童委員の一斉改選に伴い、スムーズに引継ぎができるよう事務局として支援を行った。

高齢者・障がい者を含め誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、関係者・関係機関と連携し以下の通り地域福祉活動を推進した。

## 〔1〕法人運営関係

### 1. 会議

法人の運営を円滑にするため下記の会議、研修会を開催した。

- |                       |     |
|-----------------------|-----|
| (1) 定例理事会の開催（書面決議含む）  | 11回 |
| (2) 三役会の実施            | 2回  |
| (3) 定例評議員会の開催（書面決議含む） | 3回  |
| (4) 監査の実施             | 1回  |
| (5) 評議員選任・解任委員会の開催    | 3回  |

### 2. 法人への寄附

寄託件数	3
寄託金額	30,000

### 3. 実習生の受入

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| 社会福祉士（180時間・24日以上） | 3名    |
| 看護師（1日）            | 延べ27名 |

## 〔2〕地域福祉事業の推進

平成7年度より取り組んでいる『小地域ネットワーク活動』は市内すべての地区で一人暮らし高齢者や高齢者・障がい者世帯等への個別支援活動や、町内会館等でのふれあいきいきサロン活動や子育てサロン、世代間交流会などが開催されており、新型コロナウイルス感染の減少に伴い、徐々に再開している。

平成25年度から継続して行っている「地域の暮らしを話す会」についても、新型コロナウイルス感染の減少に伴い、ほとんどの地区で開催された。

### 1. 小地域ネットワーク活動地区の指定

- |         |                          |
|---------|--------------------------|
| 《7年度～》  | (1) 日新地区福祉委員会連合会・・・〔4支部〕 |
|         | (2) 佐野台地区福祉委員会・・・〔4支部〕   |
|         | (3) 北中地区福祉委員会・・・〔3支部〕    |
|         | (4) 三小地区福祉委員会・・・〔3支部〕    |
|         | (5) 末広地区福祉委員会・・・〔6支部〕    |
| 《8年度～》  | (6) 一小地区福祉委員会・・・〔8支部〕    |
| 《9年度～》  | (7) 長滝地区福祉委員会・・・〔5支部〕    |
| 《10年度～》 | (8) 上之郷地区福祉委員会・・・〔7支部〕   |
| 《11年度～》 | (9) 大土地地区福祉委員会・・・〔2支部〕   |
| 《12年度～》 | (10) 長坂地区福祉委員会・・・〔8支部〕   |
| 《13年度～》 | (11) 日根野地区福祉委員会・・・〔9支部〕  |
| 《14年度～》 | (12) 南中地区福祉委員会・・・〔4支部〕   |
|         | (13) 中央地区福祉委員会・・・〔6支部〕   |
| 《15年度～》 | (14) 二小地区福祉委員会・・・〔9支部〕   |

### 2. 連絡会の開催

- (1) 地区福祉委員会連絡会の開催 4回  
 (2) 支部連絡会の開催 1回

### 3. 研修会・講座等の開催

- (1) 子育てサロン実施地区研修会・連絡会

開催日 / 令和4年9月21日(水)

内容 / 研修会「子育て世代が活躍できる子育てサロン  
 ～子育てサロンの参加者から運営側に至るまでの経緯を通じて～」

登壇者：長滝地区子育てサロン「あおぞら」 北浦雅子氏  
 二小地区子育てサロン「小ざくら広場」 奥田秀子氏  
 連絡会「子育てサロンの運営について」

参加者 / 26名

- (2) 小地域ネットワーク活動報告集会の開催

開催日 / 令和5年2月24日(金)

内容 / 実践発表「母山の憩いの場 つながりネット」

上之郷地区福祉委員会・母山支部福祉委員会  
 「子どもから広がる地域の輪」

北中地区福祉委員会・鶴原中央住宅支部福祉委員会

講演 「まだまだできる！お口から始めるフレイル予防」

講師：一般社団法人言語聴覚士会 高田晃宏氏

参加者 / 181名

- (3) 小地域を支えるボランティア講座

より市民に近いところで開催できるように、出張講座として行った。

日時	地区	内容
4月12日(火)	鶴原中央住宅支部	支部福祉委員会活動について
4月15日(金)	新長滝支部	社会福祉協議会について
9月10日(土)	末広地区	個別支援活動からつながる地域の支え合い
10月24日(月)	三小地区	車いす体験

- (4) 学校における福祉教育への協力

日時	学校	対象	内容
12月5日(月)	第三小学校	1・2年生	ボッチャ体験
		3・4年生	アイマスク体験
12月14日(水)	〃	3・4年生	事後学習
1月17日(火)	上之郷小学校	3年生	車いす体験
2月10日(金)	第二小学校	3年生	車いす体験
3月1日(水)	日根野小学校	3年生	車いす体験

#### 4. 小地域ネットワーク活動の実績

##### 《個別訪問活動》

項目 支部	ネット数 (世帯)	月1回以上の定期的な訪問(世帯)			延べ 訪問回数	延べ 訪問人数	登録協 力員数
		65歳以上 独居高齢者	65歳以上 高齢者世帯	その他 障がい者他			
日新地区	184	180	0	4	2,280	6,149	58
佐野台地区	237	184	46	7	4,489	13,893	118
北中地区	277	275	0	2	4,289	7,113	72
三小地区	76	74	1	1	1,666	3,332	64
末広地区	58	52	2	4	1,116	2,004	74
一小地区	157	154	2	1	2,258	3,303	143
長滝地区	105	71	7	27	2,237	4,113	93
上之郷地区	54	44	9	1	1,021	1,437	92
大土地地区	44	39	4	1	522	842	53
長坂地区	247	211	26	10	3,898	8,514	132
日根野地区	205	187	18	0	2,696	5,134	194
南中地区	136	135	1	0	2,119	3,892	73
中央地区	204	201	0	3	3,198	8,183	100
二小地区	227	168	51	8	2,791	3,434	108
合計	2,211	1,975	167	69	34,580	71,343	1,374

##### 《グループ支援活動》

項目 支部	実施回数	グループ支援活動内訳			参加者内訳	
		いきいきサロン	世代間交流会	子育てサロン	対象者	関係者
日新地区	262	247	5	10	2,934	775
佐野台地区	167	162	5	0	3,153	995
北中地区	6	4	2	0	82	73
三小地区	65	30	1	34	708	362
末広地区	203	198	5	0	3,216	1,273
一小地区	618	550	46	22	895	2,408
長滝地区	190	162	16	12	2,975	1,261
上之郷地区	50	39	1	10	862	207
大土地地区	9	7	2	0	442	58
長坂地区	383	353	30	0	5,980	1,522
日根野地区	156	133	3	20	1,795	832
南中地区	17	8	3	6	297	147
中央地区	63	39	1	23	832	272
二小地区	214	155	38	21	2,635	726
合計	2,403	2,087	158	158	26,806	10,911

## 5. 地域の暮らしを話す会の実施

地区	日 時	場 所	参加者数
日 新	12月12日(月) 18:30~19:30	ホテルニューユタカ	43
佐野台	12月7日(水) 11:00~12:00	南泉ヶ丘町会館	5
北 中	11月28日(月) 19:30~20:30	鶴原町会館	24
三 小	12月17日(土) 10:00~11:00	新町会館	16
末 広	12月15日(木) 19:00~20:00	東羽倉崎南町集会所	23
一 小	書面開催		62
長 滝	5月5日(木) 10:00~	長滝第一町内会館	37
上之郷	11月24日(木) 19:00~20:30	上之郷コミュニティセンター	24
大 土	2月11日(土) 18:00~19:30	土丸町会館	15
長 坂	11月8日(火) 19:00~20:00	北部市民交流センター	31
日根野	11月12日(土) 19:00~20:30	日根野公民館	43
南 中	10月18日(火) 14:00~15:30	南部市民交流センター	16
中 央	11月19日(土) 10:30~11:30	幸町会館	7
二 小	10月28日(金) 19:00~20:00	高松総合会館	21

延べ参加者 367

## 6. 地域福祉活動計画の推進

- (1) 地域福祉活動計画推進委員会の開催 2回

## 7. 生活支援体制整備事業

平成30年度より第1層生活支援コーディネーターを1名配置、令和元年度には第2層生活支援コーディネーターを2名配置し、令和2年度には第2層生活支援コーディネーターを1名増員し住民による支えあい活動を推進した。

- (1) コミュニティカフェ実施主体連絡会の開催

開催日 / 令和4年11月18日(金)

内 容 / 研修会：他市のコミュニティカフェの実践紹介

「プレミアムカフェ」(堺市北区)

「リビングほしがおか」(岸和田市)

意見交換会

参加者 / 34名

- (2) 各種会議への参画

地域福祉計画推進審議会・地域福祉活動計画推進委員会、地域福祉計画庁内検討会議、地区福祉委員会連絡会、社協地区担当者会議、地域の絆づくり担当者会議、医療介護連携事業事務局会議、地域ケア会議全大会、自立支援型地域ケア会議、ロコトレ会議

- (3) 生活援助サービス従事者研修の実施

3日間×2クール

合計参加者数/28名(28名修了証発行)

### 〔3〕災害に強い街づくり事業の推進

地域福祉活動支援の一環として、必要に応じて情報提供や相談支援を行った。

1. 災害時図上訓練用マップの提供 0 地区
2. 自主防災会組織等への活動支援・出席等  
防災関係相談支援：延 11 件  
訓練・会議等出席状況：延 13 件
3. 研修会の開催
  - (1) 災害に強いまちづくり研修会の開催  
開催日 / 令和 5 年 1 月 18 日（水）  
内 容 / 地域と事業所との連携、顔の見える関係づくり  
参加者 / 26 名（自主防災会 9 名・モデル事業所 7 名・事業所 10 名）
4. 災害ボランティア事前登録事業
  - (1) 事前登録事業 登録者 52 名
  - (2) 講習会・訓練等の実施
    - ①大阪 880 万人訓練  
開催日 / 令和 4 年 9 月 2 日（金）  
内 容 / 大阪府及び泉佐野市からのメール配信後、災害ボランティアセンターへ電話連絡を行うことで、発災時の事前登録者の行動喚起と社協職員の問合せ対応の訓練とした。
    - ②研修会  
開催日 / 令和 5 年 3 月 4 日（土）  
内 容 / 「被災者に寄り添うボランティア活動について」  
参加者 / 20 名
5. 災害時における協力体制の構築
  - (1) 公益社団法人 泉佐野青年会議所との協定締結 令和 4 年 10 月 12 日
  - (2) 泉佐野中央ライオンズクラブとの協定締結 令和 5 年 2 月 17 日
  - (3) 大阪いずみ市民生活協同組合との協定締結 令和 5 年 3 月 7 日

### 〔4〕ボランティアセンター事業の推進

ボランティアセンター運営委員会により、ボランティアセンターの運営及びボランティア講座やイベントの検討、開催を行った。新規ボランティア発掘のためにボランティア活動説明会を開催した。

また、4 名のボランティアアドバイザーと共に、コロナ禍の中でのボランティア活動の在り方について検討を行った。

1. 各種会議の開催
  - (1) ボランティアセンター運営委員会の開催 5 回
  - (2) ボランティアアドバイザー連絡会の開催 11 回
  - (3) 登録ボランティアグループ連絡会の開催 1 回

## 2. ボランティア活動のコーディネート

### (1) 個人登録ボランティア

活動の需給調整は4月～3月の間実施。サロン・ド・ボランティアは4月～7月・9月～3月の間実施。8月は新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった。本年度、3月末の登録ボランティアは204名、延べ活動人数は334名である。

内訳は表のとおり。

分野	施設名	活動内容	延べ活動者数
障がい者(児)	スポーツ教室	スポーツ介助	16
	いいね	レクリエーション補助	23
	ルリエ	レクリエーション補助	38
社 協	声のボランティア	市報朗読	198
		対面朗読	19
	イベント	チャリティバザー手伝い	10
	イベント	社協ふれあいクリスマス会 手伝い	4
	—	作品づくり (オレンジブレス)	10
	—	ジャガイモプロジェクト 販売準備	4
	—	外国人のための食料配布	12

### (2) グループ登録ボランティア

ボランティアグループの育成・支援をするためにボランティアセンターや福祉センターの会議室や機材等の貸し出しを行い、また、社協事業において登録グループに協力を求め、外部からの派遣依頼に対しグループの紹介を行った。3月末の登録ボランティアグループは9グループである。

ボランティアセンターからの活動依頼及び紹介による活動実績は下記のとおり。

グループ名	活動内容	活動回数	延べ活動者数
リフォーム なでしこ	社協ふれあいクリスマス会イベント制作	78	226
手話サークル いちよう	社協チャリティバザー手話通訳	1	4
	社協ふれあいクリスマス会手話通訳	1	2

## 3. 講座及び研修会の開催

### (1) ボランティア活動説明会

新規ボランティアの発掘とボランティア活動の啓発を目的としてボランティア活動説明会を開催した。

開催日	内 容	場 所	参加者数
2月20日 (月)	ボランティアの役割と心構え 及びボランティアセンターでの活動について	社会福祉センター 2階小会議室	4

#### 4. 居場所と交流機会の提供

##### (1) サテライト事務所「シャッピーハウス」の開設

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、貸館利用の各種団体やボランティアグループの活動拠点として、シャッピーハウスの運営を行った。また、チャリティショップ運営、掘り出し市、シャッピーハウス PR イベント「おはなし会」の実施を行った。

#### 5. 各種行事

##### (1) 障がい児者ふれあい交流会

パラスポーツ「ボッチャ」を通じて、障がいの理解促進と交流を図るために開催。運営者向け、初心者向けスクールと大会を実施。

###### 【運営者向けボッチャスクール】

開催日 / 令和4年8月5日(金)  
内 容 / ルール説明・試合方法について講義と実技  
講 師 : 大阪体育大学 准教授 曾根裕二氏  
場 所 / J:COM 末広体育館  
参加者 / 16名 協力者 / 7名

###### 【初心者向けボッチャスクール】

開催日 / 令和4年8月20日(土)  
内 容 / ルール説明・投球練習  
講 師 : 大阪体育大学 准教授 曾根裕二氏  
場 所 / 市立社会福祉センター  
参加者 / 18名 協力者 / 9名

###### 【ボッチャ大会】

開催日 / 令和4年9月11日(日)  
内 容 / 3人1チームでリーグ戦を行い、勝利チームで決勝トーナメントを実施  
講 師 : 大阪体育大学 准教授 曾根裕二氏  
場 所 / J:COM 末広体育館  
参加者 / 65名 協力者 / 9名

##### (2) 第43回 社協チャリティバザー

社会福祉関係団体及び協力団体・グループや市民の協力を得て、あらゆる品物を市価の半額程度で販売。売上金はすべて市民の福祉活動のために使用する。新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をとりながら、前回より来場者の入館人数を増やす工夫を行いながらの開催となった。

売上金 / 1,135,381円  
開催日 / 令和4年12月11日(日)  
内 容 / 物品販売・オークション等  
場 所 / 市立社会福祉センター  
協力者 / 前々日 3名、前日 61名、当日 75名



(3) 第44回 社協ふれあいクリスマス会

障がいをもつ児童や家庭児童相談員や教育委員会が関わっている子どもを対象に開催した。

開催日 / 令和4年12月17日(土)  
内容 / プログラム(民生委員児童委員協議会人形サークルによる歌やペープサート、紙芝居、おひさま楽園チェリー君の歌とギター演奏)、プレゼント、ケーキの配布  
場所 / エブノ泉の森ホール レセプションホール  
参加者 / 対象児童36名・同伴者65名・ボランティア22名 合計123名

(4) 第9回 ボランティアフェスティバル

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面開催とオンライン配信。後日オンライン配信の様子を社協公式YouTubeチャンネルで公開。

開催日 / 令和4年7月10日(日)  
内容 / 登録ボランティアグループによる体験・PRブース、福祉事業所による物販ブース、災害ボランティア事前登録ブース  
場所 / 市立社会福祉センター  
参加者 / 来所53名、オンラインライブ配信6名  
協力者 / 前日(準備日)26名、当日47名

(5) 掘り出し市

開催日 / 令和4年5月17日(火)  
          / 令和4年10月20日(木)  
内容 / 市民・事業所による持ち寄り品の販売  
場所 / シャッピーハウス館内  
参加者 / 参加者 約80名

(6) シャッピーハウスおはなし会

開催日 / 令和5年3月28日(火)  
内容 / 小学3年生以下の親子を対象に、特技ボランティア「紙ひこうき」による絵本の読み聞かせと茶話会を実施  
場所 / シャッピーハウス館内  
参加者 / 参加者 2組

6. 善意銀行 寄託・払い出し状況

寄託件数	21
寄託金額	1,531,548
寄託物品	ディスコン用具一式、ランドセル、食料、オムツ、郵便はがき、プラレール、マスク、生理用ナプキン

払い出し件数	5	
払い出し金	① ふれあいクリスマス会	229,778
	② 心配ごと相談事業	188,219
	③ 障がい児者ふれあい交流会	74,874
	④ ボランティアグループ 応援助成金	60,495
	⑤ 貸出用備品購入	232,918
	合 計	786,284

## 〔5〕 総合相談事業の推進

『心配ごと相談所』の相談実績は以下のとおりで、内容に応じて関係機関等と連携し、問題解決の調整を行った。

### 1. 心配ごと相談所の開設

相談員数	14名
開設延日数	49日
出席延相談員数	90名
相談者数	13名
相談件数	13件
相談員連絡会議	3回

### ※相談状況

内容 対象者	家族関係	人間関係 他の	病 気	仕 事	法 律	金 銭 関 係	そ の 他	計
高 齢 者	4	1	2	0	0	0	3	10
障 が い 者	0	0	0	0	0	0	0	0
子育て中の親	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	1	0	0	1	1	0	0	3
<b>計</b>	<b>5</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>3</b>	<b>13</b>

### ※対応

傾聴	5件
助言	3件
他機関紹介	5件（基幹包括支援センターいずみさの・岸和田市役所・ハローワーク泉佐野・市の無料相談）

## 〔6〕 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）事業の推進

令和2年度よりCSWの委託方法が変更され、包括支援センターしんいけとしてチームでのコミュニティソーシャルワーク機能の発揮に取り組んだ。

### 1. 新池圏域 CSW 分活動実績（個別相談）

#### (1) 対象者別

相談対象者		延べ件数	実件数
高齢者	1人暮らし	0	0
	高齢者のみ世帯	0	0
	その他高齢者	5	1
障がい者	身体障がい者	0	0
	知的障がい者	0	0
	精神障がい者	0	0
子育て中の親子		21	2
一人親家庭の親子		5	1
青少年		0	0
DV被害者		0	0
ホームレス		0	0
外国人（中国帰国者を含む）		2	1
その他	低収入（無職含む）	5	2
	引きこもり	0	0
	障がい疑い（疾病疑い）	1	1
	DV加害者、虐待	0	0
	その他	6	1
合 計		45	9

(2) 相談内容別

相談内容		対応延べ件数
福祉制度・サービスに関する相談		32
生活に関する身近な相談		9
健康・医療に関する相談		4
生活費に関する相談		23
就労に関する相談		3
財産管理・権利擁護に関する相談		6
多重債務に関する相談		5
DV・虐待に関する相談		6
地域福祉・ボランティアに関する相談		0
住宅に関する相談		5
子育て・子どもの教育に関する相談		5
その他	近隣トラブル（人間関係）	0
	家族関係	2
	その他	5
合 計		105

## 〔7〕在宅福祉活動の推進

公的サービスで支援できない在宅要援護者の生活上の困りごとを支援するために、『有償協力員派遣事業』（おたがいさまの会）を行い、病院の通院付添いや、入院時の買物・洗濯などの支援、墓掃除など多様なニーズに対して支援を行った。

その他、外出困難な高齢者や障がい者等に対して『福祉車両』及び『車椅子』の貸し出しを行った。

### 1. 有償協力員派遣事業「おたがいさまの会」

- |               |           |   |     |      |   |     |
|---------------|-----------|---|-----|------|---|-----|
| (1) 会員の登録状況   | 協力会員      | ／ | 27名 | 利用会員 | ／ | 37名 |
| (2) 支援状況      | 延べ 118 時間 |   |     |      |   |     |
| (3) 協力員連絡会の開催 | 1 回       |   |     |      |   |     |
| (4) 運営委員会の開催  | 1 回       |   |     |      |   |     |
| (5) 説明会の開催    | 1 回       |   |     |      |   |     |

### 2. 福祉車両貸し出し

利用者数 3名 / 貸出回数 延べ 37回

### 3. 車椅子貸し出し

利用者数 27名 / 貸出回数 延べ 32回

## 〔8〕高齢者世帯への支援〈基幹包括支援センター・包括支援センターしんいけ〉

直接支援を行う「包括センターしんいけ」と、しんいけを含めた各地域型包括支援センターへの後方支援を行う「基幹包括支援センターいずみさの」事業で役割を分担しつつ、関係各部署と連携しながら問題共有や解決に取り組んだ。

基幹包括支援センター事業では、新型コロナウイルス感染症予防の観点から会議や研修会については、リモート開催も取り入れながら事業に取り組んだ。また、高齢者のデジタル格差解消と認知症予防を目的として、スマートフォン教室を認知症施策推進事業において開催し好評を得た。新型コロナウイルス感染症による外出や交流の自粛要請が続き、体力や認知能力の低下がみられる高齢者が増加している状況をふまえて令和3年度より始めた「さのトレ体操」の普及にむけたモデル事業については新たに2か所で取り組みが始まった。

### 1. 支援の基盤整備

#### (1) 高齢者虐待防止活動

高齢者虐待通報への対応件数 41件（うち「虐待あり」判断数 23件）

#### (2) 在宅医療・介護連携推進事業

- |                |           |
|----------------|-----------|
| ①代表者会議         | 1回        |
| ②事務局会議         | 12回       |
| ③訪問によるネットワーク形成 | 医療機関 13か所 |
| ④地域住民への普及啓発    |           |

泉佐野市版エンディングノート（メッセージノート）の配布と広報誌への掲載・看護学校での講座等

⑤泉州南圏域医療・介護連携推進会議に参加

⑥多職種研修会～本人の望む暮らしをサポートする ACP（人生会議）について～

開催日／ 令和 4 年 12 月 22 日（木）

内 容／ 本人の意向を尊重した意思決定のための多職種連携について

参加者／ 医療・介護関係者 44 名

## 2. 総合相談・権利擁護

### (1) 相談状況

		いずみさの	しんいけ
相談実人数		242	248
相談延べ件数（対応回数）		1,818	1,686
相談形態内訳	訪問	180	349
	来所面接	360	186
	電話	1,278	1,151

### (2) 相談内容

相 談 内 容		いずみさの	しんいけ
介護保険関係	介護保険制度	49	378
	ケアプラン	90	258
	サービス	240	480
	施設入所	46	72
介護保険関係以外の 福祉サービス	緊急通報装置など(福祉制度)	19	97
	ボランティアなど(制度外)	30	10
医療・保健相談	保健予防	6	8
	入退院など（医療）	179	327
家庭介護・介護者支援	認知症	277	194
	身体介護	17	1
	精神介護	26	57
	家庭環境	309	211
権利擁護	成年後見制度など	481	83
	財産・経済問題など	188	182
	虐待関係	1,301	135
	その他	7	2
その他生活上の相談	社会生活など	22	44
	他	53	24
合 計		3,340	2,563

## 3. 包括的・継続的ケアマネジメント

### (1) 介護支援専門員に対する支援

ケアマネジャー支援件数 いずみさの 504 件、 しんいけ 433 件  
(相談内容)

支援数		支援内訳 (延べ)				
		ケアマネ ジメント	社会資 源紹介	主治医 連携	虐待 防止	その他
いずみさの	504	224	109	11	15	145
しんいけ	433	339	96	29	46	42

(2) 事業所向け研修会

開催日	内 容	参加者数
8 月 19 日(金)	法定外研修「勤務体制の確保等」(ハラスメント防止) について	43
10 月 21 日(金)	法定外研修「虐待の理解と早期発見について」 法的なケアマネジャーの役割	46
11 月 14 日(月)	事例検討会 (介護支援専門員対象)	27

(3) 介護支援専門員連絡会活動支援

- ・泉佐野市田尻町介護支援専門員連絡会幹事会開催 5 回(うち ZOOM 開催 3 回)
- ・泉佐野市田尻町介護支援専門員連絡会総会 書面開催
- ・6 市町ケアマネジャー合同連絡会 1 回 (ZOOM 開催)

(4) 地域型包括後方支援

- ・介護予防支援業務・担当者会議開催 3 回

(5) ケアマネジャー交流会

全 6 回 参加者延べ 31 名

4. 介護予防マネジメント

(1) 介護予防サービス計画作成数 1,808 件

(内訳) 包括作成 245 件 委託件数 1,563 件

(2) 介護予防ケアマネジメント作成数 1,037 件

(内訳) 包括作成 109 件 委託件数 928 件

5. 出張講座・介護予防教室等

(1) 介護予防・認知症などに関する出張講座 2 回 参加者延べ 40 名

(2) 地域健康教室での出張講座 4 回 参加者延べ 27 名

(3) 健康体操を用いた通いの場づくり

- ・調整会議 10 回
- ・住民向け説明会 7 回
- ・さのトレ体操実施団体 4 団体

泉陽ヶ丘自治会館、鶴原中央住宅集会所、  
母山公民館、西佐野台町会館

- ・一般介護予防事業モデル地区元気度体力測定会への協力 6 回

6. 認知症施策総合推進事業

(1) スマートフォン教室の開催 8 回×2 コース開催 参加者 23 名

(2) 認知症ケアパスの普及、活用

- (3) 認知症サポーター養成講座
- ・開催回数 11回 養成サポーター数 255名受講  
R4年度末 延べ 7,646名受講  
うち、キッズサポーター養成講座（北部青少年センター、上之郷小学校）42名
- (4) 徘徊SOSネットワーク事業
- ・泉州圏域市町村徘徊高齢者等ネットワーク会議への参画
  - ・事業普及啓発のチラシ配布
  - ・徘徊SOSネットワーク発信 泉佐野市民0件 他市1件
- (5) 初期集中支援チーム事業
- ・事業の周知
  - ・支援対象者4名 チーム員会議5回開催 自宅訪問7回実施
- (6) WAO いずみさの
- 開催日 / 令和4年9月24日（土）
- 内 容 / 「認知症の正しい理解」  
リョーヤコマツクリニック 院長 医師 小松 良哉氏  
「知っておきたい薬のお話」  
ニューロン薬局高松店 薬剤師 西 直香氏  
「今から始める認知症予防～簡単で楽しい認知症予防体操～」  
羽原病院 作業療法士 中野 正俊氏
- 参加者 / 31名

## 7. 介護支援サポーター事業

コロナ禍にて、施設側の活動受入が困難であったため、活動実績はないが、登録者のモチベーション維持のために交流会を2回開催した。

登録申請者数	登録者数	活動人数 (実数)	活動人数 (延べ)	活動回数 (延べ)
9	72	0	0	0

### (1) 介護支援サポーター交流会

開催日	内 容	参加者数
11月7日(月)	第1回介護支援サポーター交流会	19 (うち施設3)
3月2日(木)	第2回介護支援サポーター交流会	17 (うち施設0)

## [9] 障がい者世帯への支援〈基幹包括支援センター・包括支援センターしんいけ〉

障がい者世帯への支援においても、各地域型包括支援センターの後方支援を行う基幹包括支援センター業務と、新池中圏域の相談支援を担う包括支援センターしんいけ業務の2つの業務に取り組んだ。

コロナ下で障がい者の就労機会および授産製品の販売機会が減少している状況をふまえ、就労支援部会において、就労支援事業所パンフレットおよび授産品リストの作成と頒布にも取り組んだ。

## 1. 基幹相談支援センター業務

### (1) 総合相談とスクリーニング機能

身体障がい、知的障がい及び精神障がい等に対応した総合相談窓口の設置並びに特定相談支援事業所及び一般相談支援事業所への適切なつなぎを行った。

#### ●相談状況

		いずみさの	しんいけ
相談実人数		187	76
相談延べ件数		1,393	1,435
相談形態 内訳	訪問	33	211
	来所面接	34	102
	同行	3	88
	電話	319	451
	メール	0	32
	関係機関連絡調整	896	533
	個別支援会議	108	14
	その他	0	4

#### ●相談内容延べ件数

相談内容	いずみさの	しんいけ
福祉サービスの利用等	560	1,010
障がいや病状の理解	637	361
健康・医療	182	375
不安の解消・情緒安定	306	348
保育・教育	42	67
家族関係・人間関係	391	402
家計・経済	66	254
生活技術	8	47
就労	42	119
社会参加・余暇活動	19	123
権利擁護	1,202	121
その他	46	2

### (2) 相談支援事業所に対する後方支援（専門相談機能）

いずみさの 延べ517件 / しんいけ 延べ49件

### (3) 自立支援協議会の事務局運営

事務局会議 6回

専門部会他会議の運営 9回

### (4) インターバル研修の受け入れ 延べ 13名

### (5) 相談支援体制強化（会議等の参加）



「泉州地域障害者基幹相談支援センター連絡会」「相談支援事業所連絡会（児）」  
 「ジョブネット泉州南会議」「泉南ブロック進路指導関係連絡会」  
 「泉南支援学校進路懇談会」「ルリエ連絡会」  
 「要保護児童対策地域協議会障害児部会」「『働くを支える』学習会」  
 「地域自立支援協議会情報交換会（大阪府）」  
 「大阪府泉佐野保健所 精神保健福祉関係機関職員連絡会」  
 「田尻町地域包括ケア会議」「田尻町虐待対応に関する会議」

(6) 啓発活動

- ・わ∞ねっと障がい者絵画作品展 11/21～12/2
- ・福祉教育 上之郷小・日根野小・第二小・第三小
- ・就労支援部会にて作成した就労支援パンフレット、授産品リストの配布

2. 障がい者虐待防止センター業務

通常業務の他、休日夜間対応の通報ダイヤルを設置し障がい者虐待に関する相談・通報を受付した。

- ・障がい者虐待通報受理件数 24 件うち虐待あり6 件
- ・障害者虐待会議（レビュー会議） 泉佐野市 4 回／田尻町 0 回

3. 障害支援区分認定調査業務

障害福祉サービスを利用するために必要とされる支援の度合いを、全国一律の基準に基づき公平性と客観性の観点で調査業務を行った。

また、認定審査会への出席を市より依頼され、1名を委員として派遣した。

(1) 調査業務

	年間合計（延べ）
更新調査数	239
新規調査数	216
区分変更	17
合計	472
うち市外（高石以南）	51

(2) 障がい区分認定審査会への出席 6 回

[10] 中核機関（泉佐野市成年後見支援センター）

泉佐野市との協議により、令和4年4月1日より、泉佐野市・本会・大阪府社会福祉協議会による機能分担型での中核機関「泉佐野市成年後見支援センター」を開設した。

国の成年後見利用促進計画、泉佐野市地域福祉計画（成年後見利用促進計画）に基づき、市民後見人の活躍機会増加を目指して取り組んだ。

1. 市民後見人の活動状況（令和5年3月31日時点）バンク登録者 13名／受任者 4名

- (1) 専門相談 8 回
- (2) 市民後見人バンク登録者交流会 1 回
- (3) 研修会等での活動報告

開催日	内容
11月18日(金)	マッセ市民セミナー パネリスト
2月11日(祝)	～大阪府・大阪市・堺市 三社協同事業～ 令和4年度 市民後見人・成年後見制度啓発 シンポジウムパネリスト

2. 地域連携ネットワークの推進

- (1) 中核等会議の開催 6回  
(2) 権利擁護型地域ケア会議の開催 1回

3. 周知・啓発等

開催日	内容	参加者数
10月14日(金)	いちょうの森オータムフェス	5名
15日(土)	成年後見制度相談説明会	
3月17日(金)	権利擁護型地域ケア会議 研修会	46名

4. 顧問弁護士への法律相談 19件

〔11〕 経済的困窮世帯への支援〈基幹包括支援センター・包括支援センターしんいけ〉

生活困窮者自立支援事業においては、コロナ禍で生活困窮に陥っている世帯の支援を引き続き行うとともに、コロナくらし復興支援センター事業の委託を新たに受け、コロナの影響を受けて減収し、生活困窮状態にある方への相談・手続き支援を、コロナ特例貸付に関する相談窓口と一体運用しながら実施した。

また、令和3年11月から実施している、外国人住民の困窮・社会的孤立防止の「外国人のための食料配布事業」を引き続き行った。

1. 生活困窮者自立相談機関業務

- (1) 新規相談受付数 いずみさの404件・しんいけ 22件  
(2) 支援調整会議の開催 40回  
(3) 就労準備支援講座の開催

講座名 / 「かたり場」に来てみよう

講師 / 特定非営利活動法人 おおさか若者就労支援機構

OYWS カウンセリングルーム室長 臨床心理士 多田 和外氏

開催日	参加者数
2月15日(水)	8
2月22日(水)	4
3月1日(水)	5
3月8日(水)	4
3月15日(水)	2

(4) 外国人のための食料配布事業

一般財団法人泉佐野電力・特定非営利活動法人泉佐野地球交流協会との共催

開催日	参加者数
4月9日(土)	25
6月11日(土)	31
9月10日(土)	33
11月12日(土)	18
1月14日(土)	19

開催日	参加者数
5月14日(土)	23
7月9日(土)	20
10月15日(土)	28
12月10日(土)	26
3月11日(土)	30
のべ参加者数	253

(5) 出張相談会への参加

開催日 / 令和4年7月23日(土)  
 内容 / 「コロナ禍の外国人のための相談サービス」  
 主催 / 大阪国際交流財団(OFIX)  
 共催 / 泉佐野地球交流協会(ica)・泉佐野市社会福祉協議会

(6) ひきこもり支援講座

開催日	講座名	参加者数
8月31日 (水)	ひきこもりからの回復支援 ～本人や家族、関わる人のために～ 講師：和歌山大学名誉教授・NPO法人ヴィダ・リブレ 理事長 宮西 照夫氏	52

※縁起プロジェクト事業との共同開催

(7) 生活困窮相談員向け自主勉強会の開催 10回

2. いずみさの食料等支援ネットワークの運営

令和4年8月1日よりフードバンク事業「フードバンク泉佐野」が開設されたことに伴い、令和4年9月30日をもって廃止。

- (1) 配布件数 19件(個人支援17件・活動支援2件)  
 (2) 泉佐野食糧支援ネットワーク登録団体 9団体

3. 縁起プロジェクト

生きづらさを感じている人たちが安心できるつながりや自己肯定感の回復を得ることを目指して、通いの場づくりや地域理解を得るための取り組みを行った。また、支援者と当事者のコミュニケーションツールとして、「ぷらっとふおーむ通信」を毎月作成し、支援者を通じて当事者へ配布した。

また、一般社団法人ひきこもりUX会議・大阪府・泉佐野市と共催で「ひきこもりUXラウンジin泉佐野」を開催し、ひきこもり当事者・家族・支援者間の繋がりづくりを行った。

- (1) グループ活動(りれーしょん 12回/その他の活動 16回)  
 (2) ぷらっとふおーむ通信(対象者との交流ツール) 12回  
 (3) ひきこもり支援講座の開催(再掲)

開催日	講座名	参加者数
8月31日 (水)	ひきこもりからの回復支援 ～本人や家族、関わる人のために～ 講師：和歌山大学名誉教授・NPO法人ヴィダ・リブレ 理事長 宮西 照夫氏	52

(4) ひきこもり UX ラウンジ in 泉佐野の開催

主 催 / 一般社団法人ひきこもり UX 会議

共 催 / 大阪府・泉佐野市・泉佐野市社会福祉協議会

開催日	講 座 名	参加者数
1 月 19 日 (木)	①ひきこもり経験者による体験談 ②対話交流セッション	64

[12] 子育て世代に対する支援〈基幹包括支援センター〉

「子育て世代包括支援センター事業」および「母子保健事業」は、産前から子育て世代に関わり、社会的援護を要する家庭の発見・相談・専門機関の紹介などの情報提供を行うとともに、新池中圏域の妊娠届の受付・母子手帳発行業務を行うほか、各地域型包括支援センターで受け付けた妊娠届のとりまとめ業務を行っている。

(1) 妊娠届の受け付け・母子健康手帳の交付および面接

妊娠届 受理数	時期						うち支援 プラン数	アセスメントシ ートにチェック がついた妊婦数	
	～11 週	12-19 週	20-27 週	28 週 ～	不 明	産 後		97	うち特定 妊婦数
173	166	6	1	0	0	0	0		19

うち、新池中圏域外 40 件(日根野中圏域 26/佐野中圏域 8/長南中圏域 4/第三中圏域 2)

(2) 子育て世帯への相談・情報提供

実人数	37
来所相談	10
訪問相談	8
電話相談	37
情報収集	6
関係機関連絡調整	59

(3) 地域型包括支援センターへの後方支援

①母子担当者会議の開催協力

開催日	内 容	参加者数
12 月 28 日 (水)	子育て世代包括支援センター説明会	12
3 月 31 日 (金)	子育て世代包括支援センター情報交換会	15

②研修会・学習会の開催

開催日	内 容	参加者数
7 月 27 日 (水)	「妊娠届出時面接から始まる妊娠・出産・子育ての親子 への支援～妊娠届出時の面接の意義を中心に～」 講師：認定 NPO 法人児童虐待防止協会 中西真弓氏	26

開催日	内 容	参加者数
1月11日 (水)	「母子に寄り添うとは～妊娠から産褥期の関わりを通して～」 講師：助産師 森下智美氏	13

### [13] 地域自殺対策強化事業〈基幹包括支援センター〉

令和元年度より地域自殺対策推進事業では、地域のつながり・支えあいで自殺を防ぐことを目的に、講座・イベント・相談支援等を企画した。

#### (1) 普及啓発事業

開催日 / 令和4年9月27日～29日（火～木）

場 所 / イオンモール日根野

内 容 / パネル展示

参加者 / 228名

#### ①講演会

開催日	内 容	参加者数
9月14日 (水)	「死別の悲しみに向き合う～グリーンケアとはなにか～」 講師：関西学院大学人間福祉学部人間科学科 坂口幸弘 氏	29
3月29日 (水)	「誰もが自殺に追い込まれることのない地域へ～依存症を知り、気づき、つなげる～」 講師：大阪精神医療センター 入来晃久氏 全国ギャンブル依存症家族の会大阪 瀧田愛氏	52

#### (2) 支援者養成事業

開催日	内 容	参加者数
7月12日 (火)	「孤立を生み出す社会と人と関わるために覚えておきたいこと」 講師：特定非営利法人白浜レスキューネットワーク 藤藪 庸一氏 対象：民生委員児童委員	131
11月11日 (金)	ゲートキーパー養成講座 対象：関係機関対象	33
3月4日 (土)	ゲートキーパー養成研修 対象：災害ボランティア事前登録者	20

#### (3) 若年層対策事業

開催日	内 容	参加者数
8月8日 (月)	子どものSOS出し方教育 「自分の気持ちを伝えてみよう」	9
3月8日 (水)	オンライン研修会「居場所としてあり続けるために～居場所がもたらす効果～」	8

開催日	内 容	参加者数
3月27日 (月)	子どものSOS出し方教育 「自分の気持ちを伝えてみよう」	15

(4) 相談支援事業

対面相談 23件 訪問相談 72件 電話相談 138件

[14] 地域型包括支援センターの支援（基幹包括支援センター）

地域型包括支援センターの活動状況を把握し、業務が円滑に推進するように各センターからの相談に対し、その内容に応じ、助言、同行訪問、ケースカンファレンス開催、行政機関との調整や地域ケア会議開催等の支援をはじめ、業務毎に連絡会や意見交換会を実施したり、研修会や勉強会を開催し支援した。

(1) 包括支援センター事務局会議の開催 年12回

(2) 個別相談月別内容別の地域型包括支援センターの支援数 合計延 2,081件

業務区分	小分類	件数
地域包括	高齢者虐待	323
	介護予防プラン	276
	社会資源紹介	3
	支援困難	225
	関係機関調整	83
	高齢相談その他	86
障害相談	障がい者虐待	166
	サービス利用計画等	8
	社会資源紹介	34
	支援困難	181
	関係機関調整	44
	障がい相談その他	72
生活困窮	支援プラン	56
	住居確保給付金	10
	就労準備支援	18
	社会資源紹介	4
	統計システム操作	20
	生活困窮その他	143

業務区分	小分類	件数
母子	母子手帳受付	186
	ケース連絡	1
	社会資源紹介	7
	虐待防止	16
	関係機関調整	25
	母子その他	22
その他	届出等法的手続き	0
	ケア会議開催支援	9
	苦情対応	3
	対人援助	4
	メンタル支援	7
	その他	49
合計		2,081

(3) その他の事業

開催日	内 容
8月9日(火)	SSW・SCと地域型包括支援センターの情報交換会
2月20日(月)	ヤングケアラーに関する勉強会

## 〔15〕 広報宣伝活動の推進と備品の貸し出し

社協機関紙「社協だより」を年6回発行し、社協活動をPRするとともにホームページ、ブログ、インスタグラム、公式YouTubeチャンネルにより広く情報提供を行った。また、地域の福祉活動を応援するべく、社協備品の貸し出しを行った。

- (1) 社協だよりの発行 年6回(5月・7月・9月・11月・1月・3月)
- (2) 社協ホームページの運営 年間閲覧件数 延42,330件

## 〔16〕 日常生活自立支援事業の推進

判断能力の十分でない認知症高齢者や障がいのある方を対象に、契約によって、生活の相談に応じたり、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等のサービスを行うことで、自立した生活がおくれるよう支援を行っている。

なお、成年後見等開始の審判市長申立については、市と連携を図っている。

### ※ 契約・活動 件数

内 容	本事業の利用に関するもの				合 計
	対象者 状況	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	
活 動 件 数	388	1,164	1,047	2	2,601
新規契約件数	6	0	3	0	9
契 約 件 数	11	22	23	0	56

## 〔17〕 社会福祉協議会会員組織の充実と自主財源の強化

社協会員会費制度の継続加入を図り、各町内会・福祉委員会他、福祉関係団体の協力を得て、7,052,500円(昨年比-218,500円)の浄財が寄せられた。そのうちから、地域の福祉活動に利用していただく為、会員会費の50%を還付した。さらに、地区福祉委員会活動に10%還付した。

協賛会員制度については、310,000円の浄財が寄せられた。

### 1. 各地区・社協会員会費募集状況

一 小 地 区	1,462,000 円
二 小 地 区	540,000 円
三 小 地 区	424,000 円
日 新 地 区	1,056,500 円
中 央 地 区	390,000 円
長 滝 地 区	569,000 円
北 中 地 区	725,000 円
南 中 地 区	260,000 円
長 坂 地 区	324,000 円
佐 野 台 地 区	542,000 円
上 之 郷 地 区	250,000 円
日 根 野 地 区	300,000 円

末 広 地 区	120,000 円
大 土 地 区	90,000 円
合 計	7,052,500 円

## 2. 協賛会員会費募集状況 (1口 10,000円)

泉佐野市長生会連合会	社会福祉法人 いちよしの森
社会福祉法人 光会	社会福祉法人 常茂恵会
社会福祉法人 泉ヶ丘福祉会	社会福祉法人 水平会
社会福祉法人 犬鳴山	社会福祉法人 和泉の国
社会福祉法人 清光会	泉佐野地区 保護司会
社会福祉法人 来友会	社会福祉法人 泉佐野ルーテル福祉会
社会医療法人 栄公会	社会福祉法人 あおい会
社会福祉法人 日新親友会	社会福祉法人 杉の子会
社会福祉法人 清和会	社会福祉法人 日根野福祉会
社会福祉法人 みやび	社会福祉法人 幸楽会
NPO法人 いきいきくらぶ	泉佐野ロータリークラブ
民生委員児童委員協議会	土丸町会
泉佐野商工会議所	大木町内会
いいね合同会社	大阪いずみ市民生活協同組合
NPO 法人 樹恵会	泉佐野地球交流協会
日王株式会社	

## [18] 共同募金事業の推進

### 1. 赤い羽根共同募金運動

10月1日から12月31日にかけて赤い羽根共同募金運動として広く市民に協力を呼びかけ、戸別募金等を実施した。市内小中学校にも協力を依頼し9校にて児童、生徒による募金活動が行われた。街頭募金については、5ヶ所で実施し「Fill RECO FES2022」(子どもから高齢者までが楽しめる空間をつくる事を目的とした音楽フェス)にて、ブース出展を実施した。

募金額 2,639,545 円 (昨年比 -12,410 円)

### 2. 歳末たすけあい運動

“つながりささえあうみんなの地域づくり”のスローガンにもとづき、「歳末たすけあい運動」を実施した。多くの浄財が寄せられ、ひとり暮らし高齢者への見守り支援や児童が書いた年賀状の送付などに配分をし、福祉の増進に役立たせていただいた。

募金件数 50 件 募金額 807,247 円 (昨年比 -38,755 円)  
払出金額 703,370 円



## 〔19〕 低所得世帯への支援

低所得者世帯や高齢者・障がい者世帯、生計中心者が失業した世帯等に対して、大阪府生活福祉資金貸付の窓口として相談・申請を受け付けるとともに、必要に応じて生活困窮者自立相談支援機関や民生委員を紹介した。

相談件数	481
------	-----

貸付種類	生活福祉資金 (総合支援資金を除く)	総合支援資金 ※臨時特例つなぎ資金含む	緊急小口資金
申込件数	13	0	4
申込金額	3,356,000	0	400,000

新型コロナウイルスの影響を受け、減収や失業した世帯等に対し「新型コロナウイルス感染症特例」として相談・申請を受け付けるとともに、必要に応じて生活困窮者自立相談支援機関や基幹包括支援センターとの連携を行った。また、特例貸付を借り受けた世帯で、生活に困窮しており、支援が必要と考えられる世帯に対し、フォローアップ支援を実施した。

相談件数	866
------	-----

貸付種類	特例貸付 緊急小口資金	特例貸付 総合支援資金
申込件数	97	91
申込金額	18,550,000	49,450,000

※特例貸付償還・免除手続き支援 72件

※特例貸付償還免除決定者に対するフォローアップ支援 512件

## 〔20〕 市立社会福祉センターの管理運営

社会福祉センターの管理運営業務を受託し、施設の環境を整備するとともに利用者が快適に利用できるよう、設備機器の保守点検を委託契約した。今年度はコロナ感染対策等により8月1日～8月28日まで一般利用を中止した。

職員研修では、自衛消防訓練を実施した。

### 1. 高齢者・障がい者交流会、研修会の開催

#### 【高齢者・障がい者交流会】

例年多人数が参集する交流会を2回開催している。今年度は“災害に対する家庭での備え”・“自分らしく生きる”ことを実現するために」の講習会（定員60名）の開催を8月23日で予定していたが、大阪府より緊急事態宣言が発出されたため中止した。また、3月20日には、「笑う門には福来る！生活に笑いを！人生にうるおいを！」と題して、桂文五郎氏の上方古典落語2席と、「腸の若返りが健康の秘訣」と題して、近畿中央ヤクルト販売から腸を丈夫にして健康で長生きする秘訣の講座を実施した。

【研修会】

開催日	研 修 会 名	参加者数
11月29日(火)	自衛消防訓練「非常放送設備の操作と施設内設備の確認および利用者の避難誘導」 場所：福祉センター 大会議室	約 45 (内、職員 17)

2. 福祉センター利用状況

大広間利用者数	娯楽室利用者数	老人福祉センター (健康機器)
5,066	6,301	883

※大広間：詩吟・大正琴・健康麻雀・民踊・カラオケ・華道・シニアソロバンのクラブが使用

※娯楽室：囲碁・将棋のクラブが使用

会議室利用件数

	小会議室		大会議室		合計	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
午前	168	2,133	195	3,425	363	5,558
午後	218	3,338	217	6,509	435	9,847
夜間	93	1,589	17	479	110	2,068
合計	479	7,060	429	10,413	908	17,473

扇湯シャトルバス運行日数及び利用人数

運行日数	157日
扇湯行	1,102名
福祉センター行	1,123名